

国立がん研究センター東病院における医療機器開発とスタートアップ支援



NEXT

providing **state-of-the-art** medical care to patients
and **develop medical devices and technologies.**

4F

Operation Hall

3F

ICU · Contaminated and Sterile Instruments

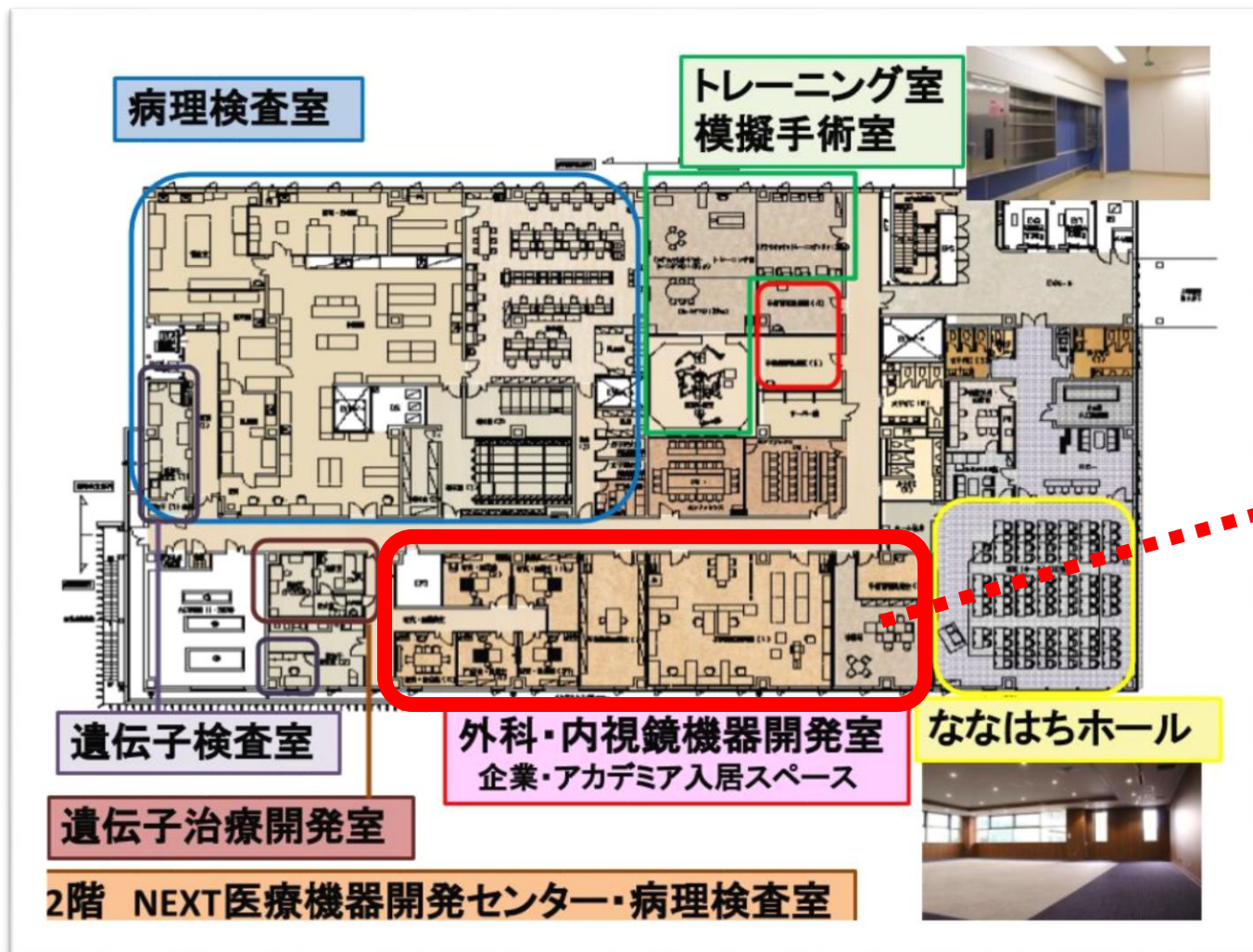
2F

Department of Pathology and Molecular Diagnostics

NEXT Medical Device Innovation Center

1F

Endoscopy Center

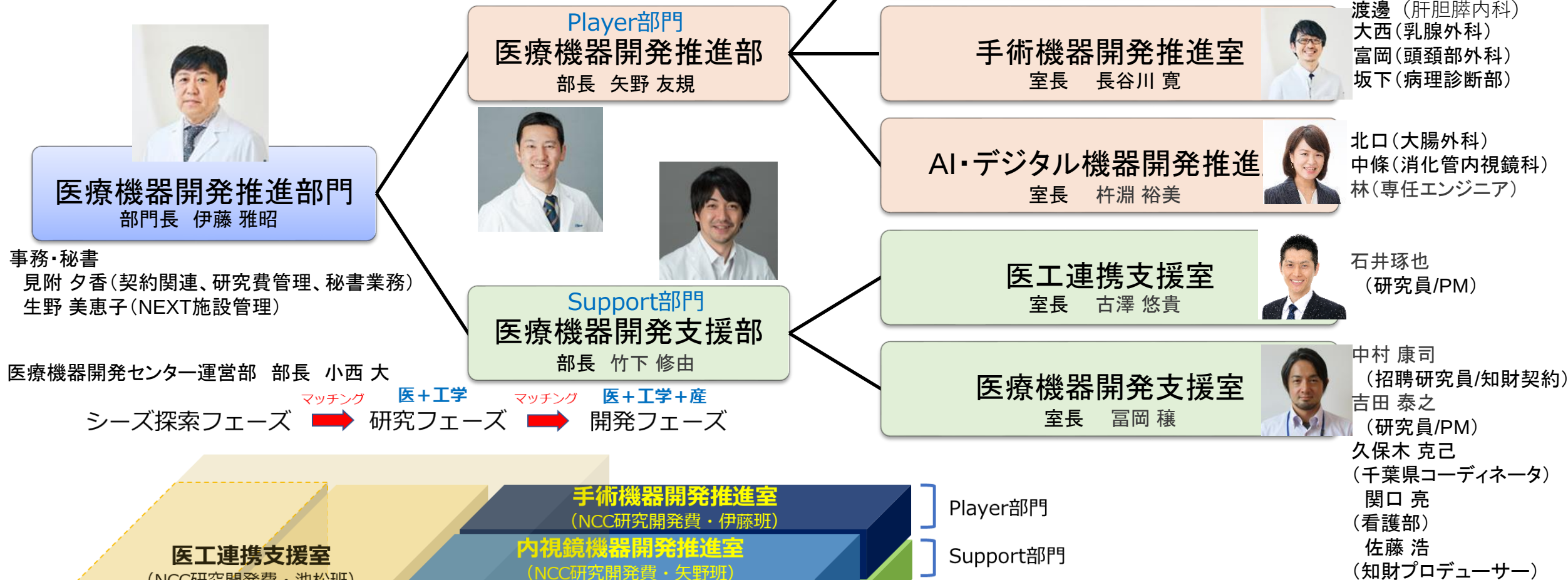


現在の入居企業



新規共同研究 2022年度**41件**
2021年度**33件**
2020年度**37件**

医療機器開発推進部門



医工連携支援室
(NCC研究開発費・池松班)

アカデミアシーズ探索
臨床ニーズマッチング

プロジェクト管理
競争的資金獲得支援

橋渡し研究推進センター
(NCC研究開発費・土原班)



プロジェクト管理・競争的資金獲得支援
知財獲得・契約、薬事・保険戦略支援

Player部門

Support部門

【Mission】医療機器で世界を変える

【Vision】①がんの生存率の向上, ②診療環境の改善, ③合併症の低減, ④患者QOLや機能の向上
をもたらす医療機器開発を推進する



AxL



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

「次世代医療機器連携拠点整備等事業」について

国立大学法人広島大学

国立大学法人北海道大学

国立大学法人鳥取大学

国立大学法人岡山大学

国立大学法人信州大学

国立大学法人京都大学

国立大学法人神戸大学医学部附属病院

学校法人東京女子医科大学

国立大学法人東北大学

国立大学法人筑波大学

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

国立研究開発法人国立がん研究センター 伊藤 雅昭

国立大学法人大阪大学医学部附属病院

国立大学法人大分大学

栗栖 薫 国際競争力を飛躍的に高める普遍的医療機器開発を目指した拠点整備事業

佐藤 典宏 国内唯一：カダバーラボで医療機器開発が可能な拠点

原田 省 「山陰から全国へ」地域密着型医療機器開発拠点の展開プログラム

金澤 右 オープンイノベーションと事業化推進を目指した医療機器開発中核拠点整備

杉原 伸宏 地域のステークホルダーと連携して一貫型支援を行う信州型医療機器開発拠点

松田 秀一 医療・福祉等二ーズ起点で次世代医療機器開発を担える起業家精神を持つ人材の育成拠点

永井 洋士 医療機器開発における「日本型エコシステム」推進を目指した拠点整備事業

村垣 善浩 世界産品創出のために医工融合Finisherを練成する新結合拠点整備事業

富永 悌二 拠点を基点とし、地域と世界をつなぐhub and spoke形成型拠点整備事業

原 晃 国際展開を視野に次世代医療機器を研究開発できる人材の育成拠点整備事業

金村 米博 全医療職ニーズ/シーズ収集をワンストップで実現する次世代医療機器連携拠点

がんの診断・治療・緩和におけるアウトカム向上に帰する医療機器創出を目指した拠点整備事業

中島 清一 熱意ある企業に熱意ある臨床医が寄り添う医療機器開発拠点整備事業

穴井 博文 地域に密着した医療現場の開放と医療機器開発情報ネットワーク拠点形成

令和元年度AMED「次世代医療機器連携拠点整備事業」14拠点の1つとして採択されました



医療機器開発推進部門

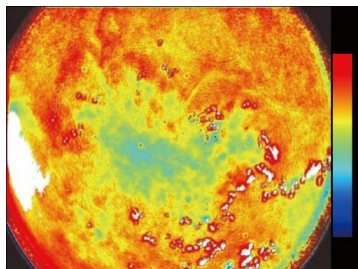
NEXT医療機器開発センターの特長

既存のがん治療の枠組みを超えた次世代型治療の実現を目指す

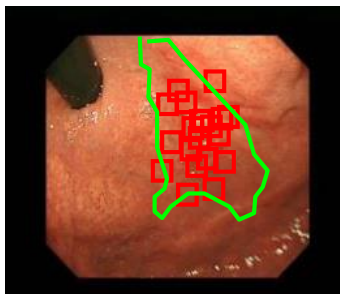
診断



NBI



低酸素イメージング

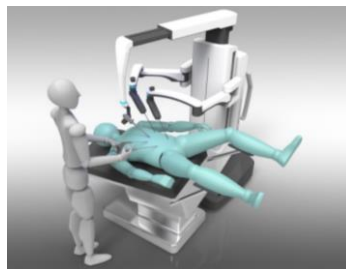


AI内視鏡診断



自動挿入

治療



手術支援ロボット



光免疫療法



AI手術支援

緩和



疼痛治療器



せん妄・急変予測
システム

がんの診療過程をシームレスに網羅 充実した臨床研究基盤を活かして
革新的医療機器の速やかな製品化、臨床導入を実現する医療機器開発拠点

“高度がん診療拠点”
における臨床現場観
察を通じた人材育成



動物実験
試作品評価等による
POC取得支援

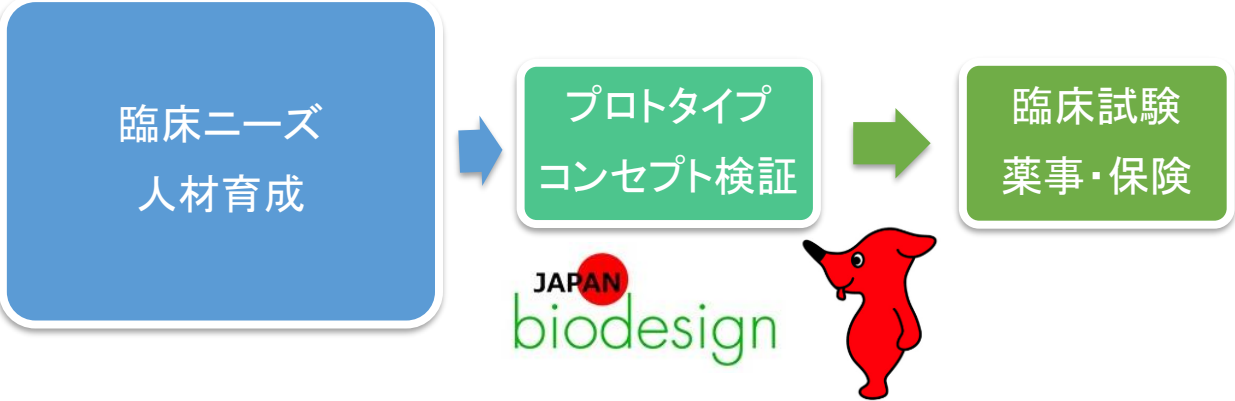


企業等からの相談に
応じた薬事・事業化
に向けた出口戦略



次世代の開発人材育成と成果創出に繋げる

臨床現場観察



ジャパン・バイオデザインや自治体と連携した
クリニカルイマージョン（臨床現場観察）
2022年度は計243名を受け入れ



（ジャパン・バイオデザインと連携したセミナー）



（手術室におけるクリニカルイマージョン+VR）

がん領域のニーズ発信

千葉県 東京都 東京都医工連携HUB機構

令和3年度
がん領域臨床ニーズマッチング会
10月13日（水） 17:00～19:00
オンラインミーティングシステム Zoom を使用します

医療従事者の困りごと（ニーズ）と企業の技術をマッチングし、新たな製品開発につなげるための場である臨床ニーズマッチング会。
今回は、日本を代表する3つのがん専門病院が一堂に会して、臨床ニーズが発表されます。

対象
医療機器産業/医工連携に関心をお持ちの
製薬企業、ものづくり企業、臨床機関、
大学・研究機関、行政・公的機関の方など
※お申込み方法については、裏面をご覧ください

参加費 無料

プログラム
17:00 開会挨拶 大津 敦氏 国立がん研究センター東病院 病院長
高橋 俊之 千葉県商工労働部 次長
加来 順也 東京都産業労働局商工部創業支援課 技術調整担当課長
17:15 イントロダクション
17:20 臨床ニーズ発表 3病院から15件程度の発表を予定

18:50 質疑応答
18:55 閉会

共催/国立がん研究センター
協賛/公益財団法人



【最新更新日：2023年3月8日】

当院では、より良い医療を実現するための研究開発に力を入れており、各診療科・部門では以下のテーマと領域において、シーズを保有する企業・アカデミアの方々と連携させていただきたいと考えております。以下に記載したニーズは一例です。様々な医療ニーズを解決する“ものづくり”にご興味のある方は「医療機器開発のご相談」または「お問い合わせ」のページからご連絡ください。

診療科	取り組みたい研究テーマ/医療ニーズ（例）
大腸外科	診療の結果を自動でカルテにテキスト化するシステム 組織深部に存在する微小な癌を診断できる装置 手術動画を同時に録画して患者家族にLIVE配信する技術 患者への1G内容（音声データ）をテキスト化してカルテに保存するシステムの開発 神経を可視化するデバイス 胃腸に挿入できるバイタルサインや電位などから発症の必要性を判断してくれるAIアプリ 手術中に癌気や油滴で曇らないカメラレンズ 切断面からの蒸気や油滴を出さずに臓器を切断できるデバイス

東京都 東京都医工連携HUB機構 千葉県

令和4年度
がん領域臨床ニーズマッチング会
2022年10月25日（火） 17:00～19:00
参加費無料 オンライン開催
オンラインミーティングシステムZOOMを使用します

国立がん研究センター東病院・国立がん研究センター中央病院・がん研究会有明病院

医療従事者の困りごと（ニーズ）と企業の技術をマッチングし、新たな製品開発につなげるための場である臨床ニーズマッチング会。日本を代表する3つのがん専門病院が一堂に会して、臨床ニーズが発表されます。

対象者
医療機器産業/医工連携に関心をお持ちの
製薬企業、ものづくり企業、臨床機関、大学・研究機関、行政・公的機関の方など
※お申込み方法については、裏面をご覧ください

プログラム
17:00 開会挨拶 島田 和明氏 国立がん研究センター中央病院 病院長
秋山 良一 千葉県商工労働部 次長
松本 朋之 東京都産業労働局商工部技術調整担当課長
17:15 イントロダクション
17:20 臨床ニーズ発表 3病院から15件程度の発表を予定

共催/国立がん研究センター
協賛/公益財団法人

POC (Proof of concept) 取得支援

動物実験施設



臨床ニーズ
人材育成

プロトタイプ
コンセプト検証

臨床試験
薬事・保険

模擬手術室



大型動物実験
2022年度**31件**実施
2021年度**11件**実施
2020年度**13件**実施



(ブタ動物実験によるPOC)



(ファントムによる評価)



新規発明

2022年度**10件**創出
2021年度**11件**創出
2020年度**13件**創出



**2名の知財専門家（元特許審査官/発明推進協会知的財産プロデューサー）
による発明創出・知財獲得支援**



医療機器開発推進部門

薬事・事業化に向けた出口戦略

臨床ニーズ
人材育成

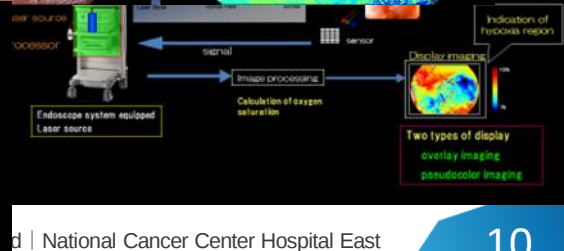
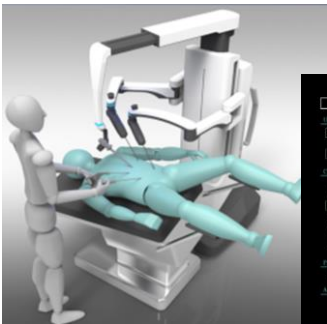
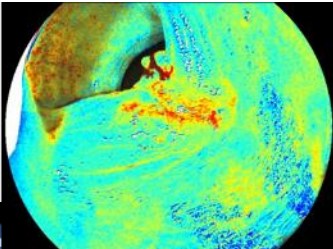
プロトタイプ
コンセプト検証

臨床試験
薬事・保険
事業化

医療機器	製造販売企業	当センターの寄与
酸素飽和度イメージング	富士フイルム株式会社	コンセプト提案、非臨床試験（大型動物実験）・POC確認臨床試験の実施、 薬事承認
生分解性ステント	パイオラックス・メディカルデバイス	先進医療Bの実施、企業への結果の導出、企業 治療実施
光線力学療法（レザフィリン/PDレーザ）	Meiji-Seikaファルマ	医師主導治験の実施（京都大学らと）、 薬事承認・保険適用 （薬・機器共に）
ウイングドレーンチューブ	村中医療器株式会社	製品の企画・立案、企業提携・共同研究、医師主導臨床試験の実施、 薬事承認・保険適用
エアシール・インテリジェント・フローシステム	センチュリーメディカル株式会社	適応拡大に関する企業への提案、PMDA相談への協力、 薬事承認
手術支援ロボット	株式会社A-Traction	コンセプト提案、非臨床試験（大型動物実験）・ 薬事承認
手術支援ロボット	株式会社A-Traction	ベンチャーキャピタルと連携した 事業化戦略
AI手術支援システム	株式会社Jmees	AMED事業からスピンアウト、 事業化・出資獲得
手術動画データベース	株式会社Surg Storage	AMED事業からスピンアウト、 事業化



AIRSEAL®
(Tri-Lumen Filtered Tube Set)

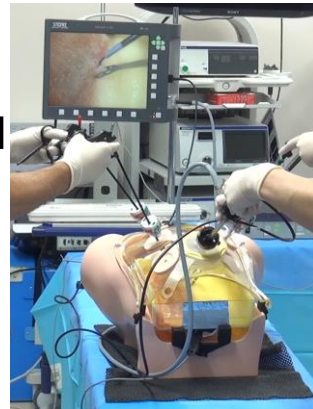


2022年度	件数
薬事・事業化に向けた出口戦略の相談	100件
PMDA相談	17回

手術トレーニングデバイスを用いた手術

「腹腔鏡下S状結腸トレーニングデバイス」

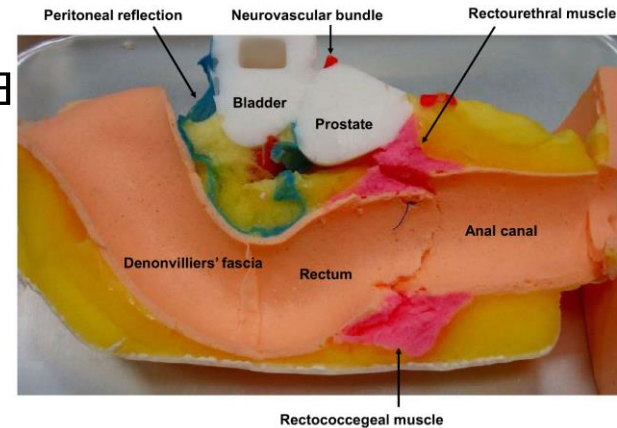
SIGMASTER



ミジヨ

「TaTMEトレーニングデバイス」

ITOBX



- ・ブタに代わる新たなトレーニング機会の提供
- ・日本全国に月に約50回の提供実績
- ・SIGMASTERによるトレーニング手技の人工知能（AI）による自動技術評価を行う研究についてJ社と共同研究施行予定

- ・毎月のTaTMEセミナー継続
- ・TaTME手技のタスク分析が完了。
- ・TaTMEの評価に必要な項目についてDelphi法を用いてコンセンサスを図り、評価ツールの開発を行う。



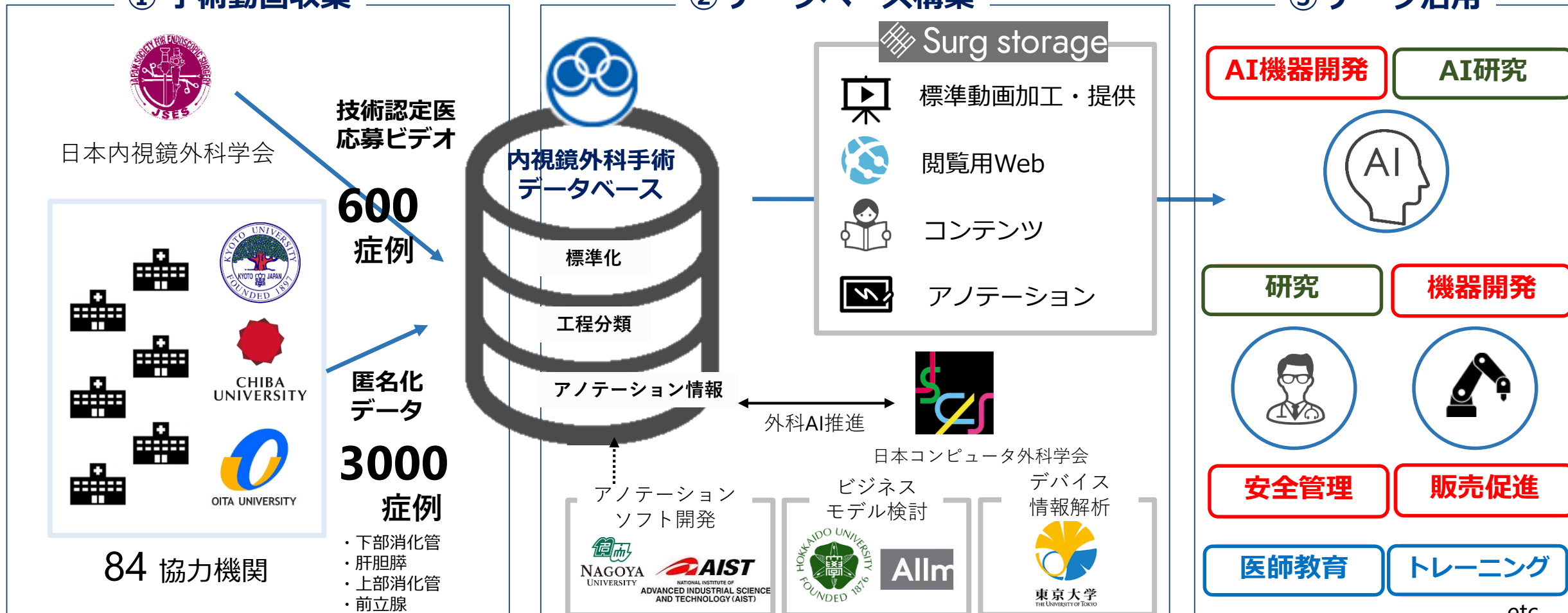
国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

医療機関・アカデミア・関連企業が求める価値あるデータベースの構築および
日本の外科手術の質を維持し、プロダクトとして世界に導出する基盤整備の完了

① 手術動画収集

② データベース構築

③ データ活用



AMED「先進的医療機器・システム等技術開発事業 (先進的医療機器・システム等開発プロジェクト)」R1-5年度

手術情報支援システムの試作版の完成と臨床研究プロトコールの作成

「腹腔鏡下大腸切除術におけるAI技術を用いた術中イメージナビゲーションの有用性の検討」



全20症例における各対象に対するモデルの認識率

認識対象	認識成功	認識失敗	N/A	認識率 (%)
尿管 (内側授動)	19	1	0	95.0
尿管 (外側授動)	17	2	1	89.5
右下腹神経	17	2	1	89.5
左下腹神経	15	1	4	93.8
上下腹神経叢	18	1	1	94.7
平均				92.5%

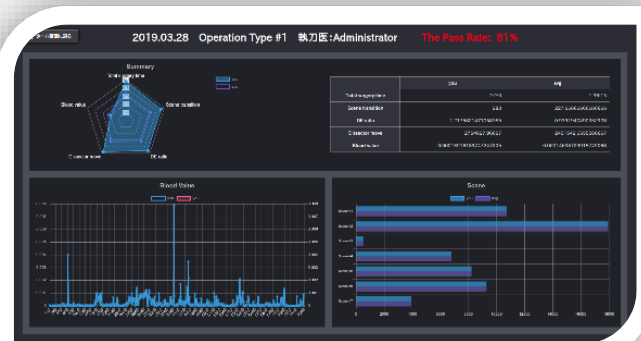
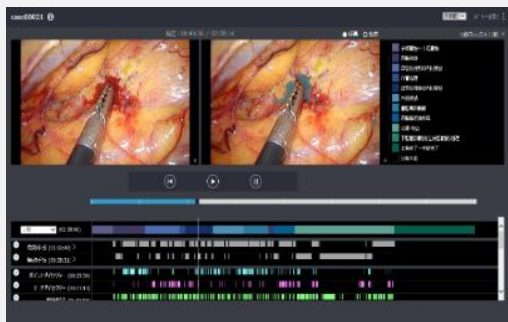
認識タイミングの比較 ～外科医 vs AI～

認識対象	外科医の勝ち	AIの勝ち	引き分け	NA
尿管 (内側授動)	5	12	2	1
尿管 (外側授動)	1	15	1	3
右下腹神経	3	14	2	1
左下腹神経	2	11	2	5
上下腹神経叢	4	15	0	1
勝率	17%	83%		

AMEDメディカルアーツ

内視鏡外科手術におけるAI自動技術評価システムの構築

<人工知能による要素技術> <AI技術評価システムのイメージ>



外科医の手術技能評価をAIによる画像認識スコアで達成
—JAMA Surgeryに論文発表—

ツイート シェアする LINEで送る

2023年6月19日
国立研究開発法人国立がん研究センター

概要

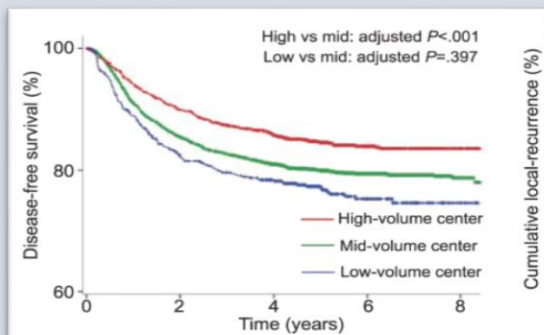
国立研究開発法人国立がん研究センター（理事長：中釜 斉、東京都中央区）東病院（病院長：大津 敦、千葉県柏市）医療機器開発推進部門の伊藤雅昭部門長の研究グループは、一般社団法人日本内視鏡外科学会（以下、日本内視鏡外科学会）と連携し、エキスパートが実施した腹腔鏡下大腸（S状結腸）切除術60症例の手術映像を用い、AIが手術工程を自動認識するモデルを開発しました。技術認定制度の審査結果が紐付けられた別の手術映像を用い、本モデルによる評価を行ったところ、AIによる画像認識スコア（AIが判定するエキスパート手術との類似度）が、日本内視鏡外科学会の選定した審査員による技術認定制度審査スコアと強い相関を認めました。

本研究は、手術映像やそこに映る対象物をAIによって画像認識し、手術中の外科医のパフォーマンスや事象を客観化・定量化することにもつながり得る、極めて新しい試みです。AIによる手術技能評価モデルの開発は、より客観的な評価を可能とするとともに、評価者の負担を軽減することで、外科手術教育の質と効率性を高めることが期待されます。学会による技術認定制度の審査補助や、他の腹腔鏡手術を含めた幅広い自動手術技能評価システムとして実用化を目指します。

本研究の成果は、米国学術雑誌「JAMA Surgery」で発表（日本時間2023年6月7日付）されました。

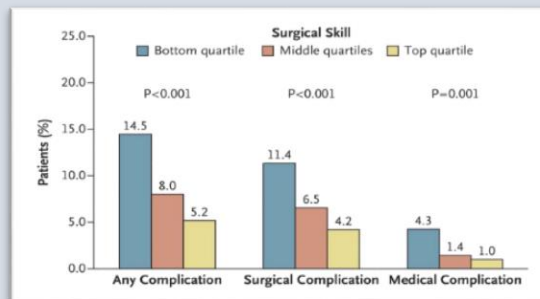
人工知能による要素技術を導入して客観的な技術評価システムを構築する

<手術の質とアウトカムの関係性>



（子宮頸癌）施設症例数による予後の違い

Obstet Gynecol. 2019 Jun;133(6):1086-1098.



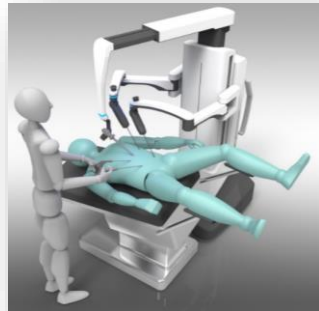
（肥満手術）スキルの違いで合併症率が異なる

N Engl J Med. 2013 Oct 10;369(15):1434-42.

NCC発ベンチャー企業の躍進！！

A-

A-Traction



ASAHI SURGICAL ROBOTICS

国内医療機器ベンチャーとして
数少ないEXIT !!



HEALTHCARE & SCIENCE

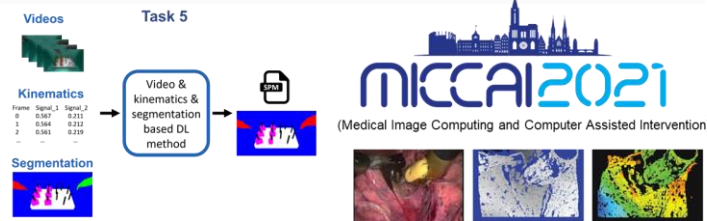
Hiroki Matsuzaki, 27

FOUNDER, JMEES | JAPAN

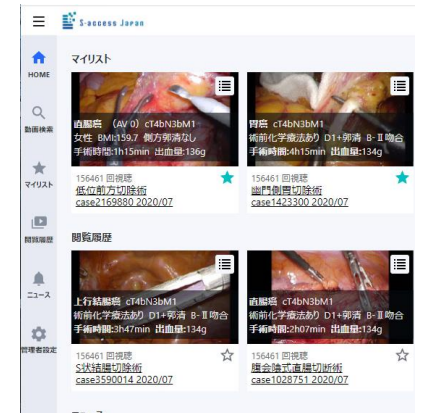


Matsuzaki, who studied engineering at The University of Tokyo, started the Chiba, Japan-based firm in 2019. Its AI medical software supports surgeons performing endoscopic procedures. Japanese VC firm UTokyo Innovation O Platform chose the firm as one of six startups to support in 2020.

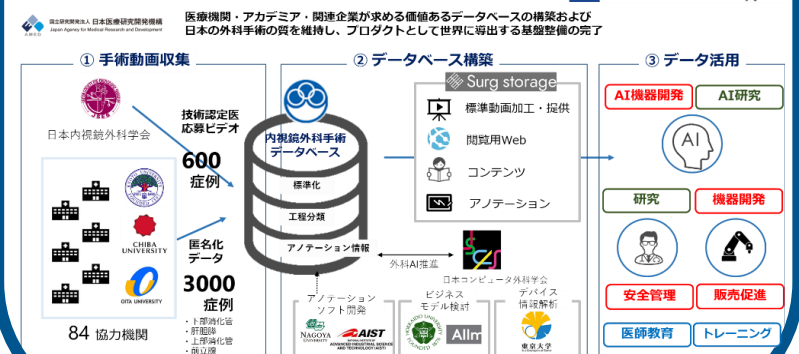
FULL PROFILE



**Forbes 30 Under 30 Asia 2021に選出！
MICCAI challenge 2021 最高精度を達成！**



内視鏡外科手術データベース 構築プロジェクト **S-access Japan**
National Cancer Center Hospital Japan



NCC発スタートアップの手術支援ロボットが 薬事承認取得



TATMEへの応用

2チーム手術を通常の内視鏡手術と
同等の人数で行うため



現在のTwo team taTME



2015年 創業



2021年 朝日インテックに買収



2023年 薬事承認取得



起業を目指す医師/エンジニア/ビジネスパーソンの人材育成プログラム

2021年度：全国12病院より、28グループ36名（医師32名、医学系教授1名、医学生2名、その他医療従事者1名）参加



石川県立中央病院
Ishikawa Prefectural Central Hospital



自治医科大学附属さいたま医療センター
Jichi Medical University Saitama Medical Center



国立がん研究センター
中央病院
National Cancer Center Hospital



杏林大学医学部附属病院



医療法人 澄心会
岐阜ハートセンター
GIFU HEART CENTER



長崎大学病院
Nagasaki University Hospital



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



東京慈恵会医科大学



筑波大学附属病院
University of Tsukuba Hospital



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East



がん研有明病院
CANCER INSTITUTE HOSPITAL



医療機器開発推進部門

2022年度：医師22名、エンジニア8名参加

起業を目指す 医師・エンジニア ・ビジネスパーソン の人材育成プログラム

受講無料
応募〆切
6/30（金）17:00

イノベーションの虎
～ NO CHALLENGE, NO INNOVATION～



プログラムの特徴

医療スタートアップに欠かせない
医師、エンジニア、ビジネスパーソンが参加
起業に必要なことが幅広く学べる講演
ベンチャーキャピタルとの連携と支援
メンタリングやハズオンの実施
オンライン/現地での参加者、メンター、
講師との交流会の開催
国立がん研究センター 東病院
医療機器開発推進部門によるサポート

概要

期間：2023年7月～2024年3月
実施場所：原則オンライン（首都圏での現地イベントも開催予定）
応募資格：医療ニーズ・シーズを持ち、開発意欲のある医師または
そのチーム
医師との機器・ソフトウェア開発に興味がある
エンジニアやビジネスパーソン
募集人数：医師・エンジニア・ビジネスパーソンともに 各10名を予定
目指す製品・サービスの事業領域：医療機器、デジタルヘルス、
DTX、プログラム医療機器（SaMD）等

※ プログラム詳細やお申込みは以下のWeb siteまたは、右下のQRコードよりお願いいたします。
講演等、プログラムの詳細は決まり次第Web siteにアップしていきます。

<https://axl-next.ncc.go.jp/innovation/>



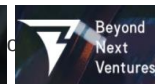
国立がん研究センター 東病院 医療機器開発推進部門

電話：04-7130-0199 E-mail：NEXT_AxL@east.ncc.go.jp

※当プログラムは、AMED「次世代医療機器連携拠点整備等事業」の支援を受けています。



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East



起業を目指す医師の人材育成プログラム

アイデアソン参加者募集!

医療・ヘルスケアに興味のあるPdM、
エンジニアの方のご参加をお待ちしています



DELISPECT

超高齢社会の医療課題を解決するDXカンパニーを目指して



小川 朝生 (医師)

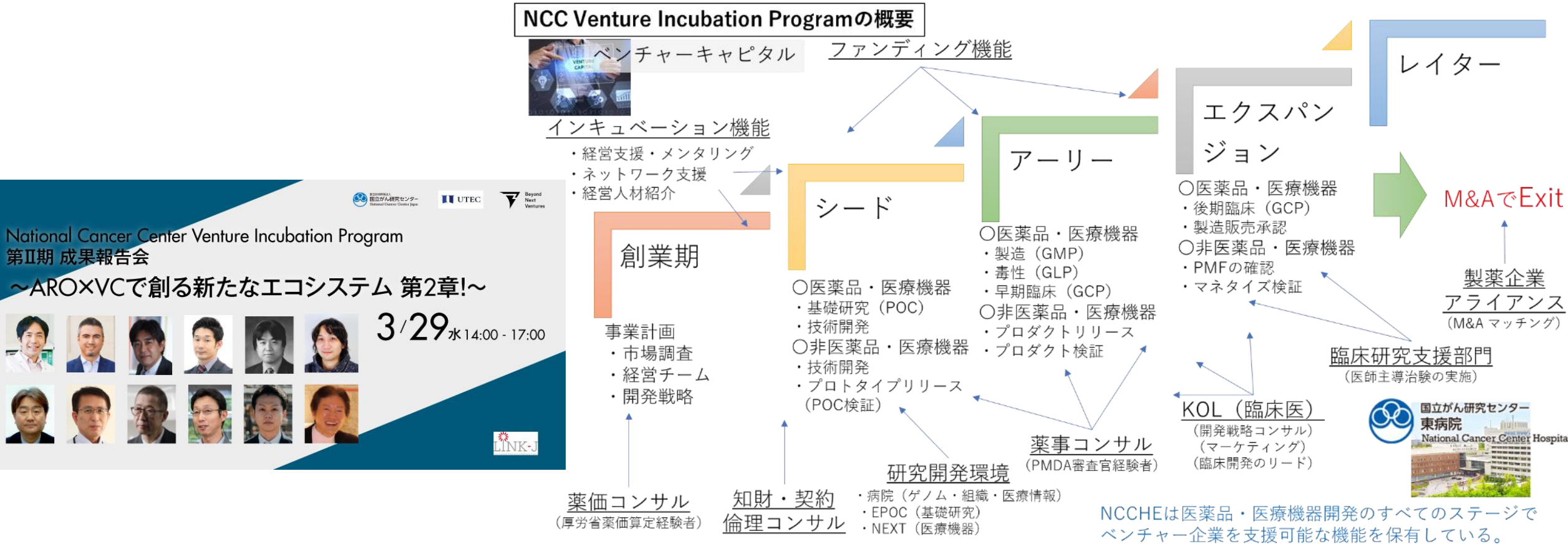
国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科

せん妄のKOLとして、サイコオンコロジー学会理事、緩和医療学会理事、総合病院精神学会評議員を務める。



→AMED獲得!!

医療機関×Venture CapitalによるIncubation Program



【目的】NCCの研究資源・支援機能、VCの経営支援機能を補完的に組み合わせ、スタートアップ企業の成功確率を上げる！

【対象】NCC内部・外部を問わず応募が可能。がんの診療に関係すれば、医薬・医療機器・メドテックまで広く対象とする



- ・ 経営支援/メンタリング
- ・ アントレプレナーシップ教育

・ 出資

- ・ 出資はVCが独自に判断
- ・ プログラム参加VC以外からも資金調達可能

ベンチャー企業の募集/紹介

選定イベント

- ・ 育成対象ベンチャーを選定 (NCCHE,VC共同)
- ・ 選定時点ではVCからの投資は確約しない
- ・ 5-10社/年程度を選定



育成対象ベンチャー

- ・ NCCとVCが共同で進捗管理・支援
- ・ VCの判断で随時投資を行う (1-2社)
- ・ 教育プログラム (共同研究・レジデント両タイプ)
- ・ レンタルオフィス (レジデントタイプ) を利用可能



ピッチイベント (マッチング)

- ・ プログラム開始後半年～1年で実施
- ・ 他のVCからの資金調達
- ・ 製薬・医療機器など企業とのマッチング



アライアンス契約



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

- ・ 各種コンサル提供
- ・ がん領域の教育プログラム (既存を活用)
- ・ NCCHEベンチャー育成対象に採択



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

All rights reserved | National Cancer Center Hospital East



Fogarty Institute for Innovation



Conference Rooms



Fogarty Institute for Innovation



Workshop



19,000 sq ft



Office Space



Interaction Space



- ✓ El Camino hospital (300-400床) の敷地内にある医療機器開発拠点 (NPO)
- ✓ 病院や患者のニーズに合わせた、医師×エンジニアによる医療機器開発を支援
- ✓ 病院敷地内に工房があり、試作開発が可能
- ✓ 財源は寄付金
- ✓ 応募ベンチャーに対しセレクションを行い、入居無料（現在7社）、財政援助、事業化伴走、FDA講師、投資や大型グラント獲得支援、進捗チェックなど

Companies-in-Residence	Company	Financing at Graduation	Therapeutic Area
Maternal & Infant Care MARZ MEDICAL	 	\$20M (2011) \$14M (2012)	Non-invasive detection of coronary stenosis. Minimally-invasive femoral artery bypass.
Cardiovascular 		\$4.2M (2014)	Prevents surgical infections.
Surgical 		\$5.9M (2015)	Cure for venous dysfunction.
Oncology 		\$12M (2016)	Female infertility & ovarian cancer.
Gastrointestinal 		\$1.2M (2016)	Treat Post-partum hemorrhage.

NCCを中心としたインキュベーション拠点整備を提案（日本版FII）

「三井リンクラボ柏の葉1」オープン

幅広いプレイヤーの集積・連携を促す設備・環境に加え、
柏の葉スマートシティ内のアカデミアや医療施設と協働し産学医連携サービスを提供



NCC Venture Incubation Program 第II期中間報告会

～ARO × VCで創る新たなエコシステム 第2章～

10/28(金) 13:00～15:40 (12:50入室開始)

参加費無料

オンライン視聴！お申し込みはこちら

QRコード

プログラム

- 13:00～13:05 開会の挨拶
国立がん研究センター東病院 病院長 大塚 敦
- 13:05～13:20 第1期の振り返り
国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長 佐藤 晴洋
- 13:20～13:50 TCONM in collaboration with BioLabsの取り組み
公益財団法人川崎市産業振興財団 総研キングスライフフロントクラスター事業部 インキュベーション事業推進室 サイトディレクター 岸見 直志
- 13:50～14:05 「ARNA× FII」を掲げて：非臨床試験の加速と「バリューチェーン」の構築
青森ねぶた健康研究所 所長 瀬谷 剛
- 14:05～14:20 「産学・医のメンタルを支えるVRデジタル療法の可能性」
株式会社BIPSEE、高知大学医学部 板村 龍代

14:20～14:35 「せんき 対応支援プログラム」に関する研究発表
国立がん研究センター東病院 外系研究員 金田 賢

14:35～14:50 「がん治療の発展とピア・サポート」
株式会社イーゲーム 安藤 信博

14:50～15:05 「がん検診やがん検出環境に高品質なGPRをターゲットとした製薬性がん治療の開発」
リベロセ株式会社 代表取締役 菅原 康

15:05～15:20 「中継コンセンサスを活用した血中癌腫がん検出の分離、創薬支援、早期診断技術」
チーム起歩 大西 雄幸

15:20～15:35 「がん検診等の精神状態を維持・改善するバイオフィードバック治療のためのアサラシ量口ポート」
「ICU(PARQ)」の設置と主治医の専任
国立研究開発法人 産学技術総合研究所 人間情報インテラクション研究部門 柴田 康徳

15:35～15:40 閉会の挨拶
株式会社東京エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)、Beyond Next Ventures 株式会社
代表取締役社長/マネージングパートナー 藤田 友孝

主催：国立がん研究センター東病院
共催：東京エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)、Beyond Next Ventures 株式会社
協力：三井不動産、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

お問い合わせ：NCC Venture Incubation Program事務局 Mail: ncc_vip_office@ncc.go.jp

第6回 メディカルデバイスイノベーション in 柏の葉 ONLINE

2022.10.28 16:00-19:00 (15:50 オンライン入室開始)

参加費無料

プログラム

- 16:00-16:05 開会挨拶
- 16:05-16:35 第一節：講演・パネルディスカッション
「スタートアップが切り拓く未来と政府後援の力」
経済産業省 新事業創出推進室長 石井 秀樹氏
- 16:35-17:05 第二節：講演・パネルディスカッション
「スタートアップが切り拓く未来と政府後援の力」
経済産業省 新事業創出推進室長 石井 秀樹氏
- 17:05-17:45 第三節：講演・パネルディスカッション
「スタートアップが切り拓く未来と政府後援の力」
経済産業省 新事業創出推進室長 石井 秀樹氏
- 17:45-18:00 第四節：講演・パネルディスカッション
「スタートアップが切り拓く未来と政府後援の力」
経済産業省 新事業創出推進室長 石井 秀樹氏
- 18:00-18:15 閉会挨拶

対談者
石井 秀樹氏、佐藤 晴洋氏、菅原 康氏、大塚 敦氏、岸見 直志氏、瀬谷 剛氏、板村 龍代氏、金田 賢氏、安藤 信博氏、菅原 康氏、大西 雄幸氏、柴田 康徳氏

参加対象
産学医連携に関わる、または関心のある医療・産学医連携関係者、ベンチャー企業、創薬企業、VC等

参加費
無料 (申込)

お問い合わせ
東京エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) 代表取締役社長/マネージングパートナー 藤田 友孝
utec@utec.jp

参加申込
2022年9月(木) 11:00～受付開始
URLまたはQRコードより、イベント参加フォームへアクセスしお申し込み下さい。
https://md2022.peatix.com

主催
国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長 佐藤 晴洋氏、国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長 佐藤 晴洋氏、国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 部門長 佐藤 晴洋氏

後援
三井不動産、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

協力
三井不動産、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)

N E X T



医療機器開発推進部門

Thank you for your attention!!



S-access Japan

National Cancer Center Japan



AxL



国立がん研究センター
東病院
National Cancer Center Hospital East

All rights reserved | National Cancer Center Hospital East

All rights reserved | National Cancer Center Hospital East